

## 第 11 回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会合同部会②資料

小山市渡良瀬遊水地エコツーリズムガイド協会について**協会概要**

- 1 設立年月日：2017年12月13日
- 2 設立目的：ラムサール条約登録湿地渡良瀬遊水地の自然環境を活用したエコツーリズムの振興を図るためのガイド活動を行う。  
また、観光資源としての渡良瀬遊水地とそれに隣接する生井地区の自然環境、歴史、文化遺産を紹介するガイド活動を通して地域振興に資する。
- 3 在籍人員：39名（2018年5月21日現在）
- 4 資格要件：ガイドになるための要件としては、小山市民大学が実施する渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成コースの履修者。

**活動内容**

- 1 活動場所：渡良瀬遊水地第二調節池環境学習フィールド3、及び、第二調節池に隣接する生井地区。また、依頼者要望があれば、第二排水門、越流堤、鷹見台周辺、谷中湖、谷中村遺跡保存エリア、ウォッチング・タワー等を案内。
- 2 説明内容：遊水地の生い立ち、役割・機能、環境保全、自然観察等  
対象者や依頼者要望に基づき、平易な説明から準専門的内容までのガイドを提供
- 3 ガイド料：一般向けガイドは下記表に基づき、1単位は500円から
 

4時間	4	8	12	16
3時間	3	6	9	12
2時間	2	4	6	8
1時間	1	2	3	4
	1～10人	11～20人	21～30人	31～40人
- 4 外国語対応：英語での対応可
- 5 自主研鑽：ガイドレベル向上のため、関連場所・施設の見学や外部講師を招聘しての学習を行っている。自然観察会を自主開催

**課 題**

- 1 ガイド常駐拠点（ガイド・ハウス）の早期実現
- 2 ガイド実施の全員参加、機会均等をどう実現するか
- 3 渡良瀬遊水地で活動する4市2町の各種ガイド団体との交流・連携の実現
- 4 ガイドマップ、ガイドブック等の資料編纂と多言語化
- 5 農泊体験、及び、インバウンドへの対応能力

以上

谷中村の遺跡を守る会主催

# 第3回谷中村ガイド養成講座のご案内

“とちぎ夢ファーレ”助成事業

初心者向け。一般の方もご入会頂ければ受講できます！

2014年10月に「谷中村の遺跡を守る会」が新体制でスタートし、その記念事業として栃木市の助成を得て、2015・6年に2回「谷中村ガイド養成講座」を実施しました。大変好評で、延べ100名が参加し、全回受講した70名の方が「終了証」を授与されています

**2017年の今回は3回目、最後の養成講座です。**

渡良瀬遊水地が“ラムサール条約”に登録されて以来、年々訪れる方が増え、「現場で、廃村になった谷中村にかかわる歴史を話してほしい」との要望が強くなります。

つきましては、皆さまがこの「講座」を受講し説明ボランティアとしてぜひご活躍して下さい。現地案内の実技を重視しています。教養アップとしての受講も枠があり次第歓迎です。

なお、過去の受講者で「欠席講座」を今回受講すれば「終了証」が授与されます。

**定員 30名** 一般の方も、守る会にご入会（年会費1000円）頂ければ受講できます。

**応募受付開始** 2017年1月10日（火） 応募締め切り 1月25日（水）

**申し込み先** 山口事務局長 携帯 080-1259-4143  
FAX 0282-62-5662

- ・講習 座学4回および現地案内（フィールドワーク=FW）2回
- ・受講料（実費） 2000円（全講座の資料代1000円、2回目FWのバス代1000円）
- ・全講座終了者 「谷中村ガイド養成講座終了証」授与
- ・座学講習 各水曜日 13:30～16:30（3時間）  
講義90分 休憩15分 討議75分
- ・座学会場は、 藤岡公民館3階大会議室？ 東武日光線「藤岡駅」（各駅停車）下車  
（場所は裏面マップ参照） 希望者には「藤岡駅」への送迎あり

## 【講座】

全般運営・司会 赤上 剛

### 第1回 2月 8日（水）「入門・旧谷中村地区フィールドワーク」

**\*集合場所・時間に注意**

講師〈坂原辰男 守る会・田中正造大学事務局長+守る会役員〉

集合10:00遊水地内駐車場。弁当持参 終了後16:30まで公民館で交流会。

### 第2回 2月15日（水）「谷中村の歴史、水辺の暮らし」

講師〈針ヶ谷照夫 足尾鉍毒事件田中正造記念館理事長〉

会場？

### 第3回 2月22日（水）「足尾銅山鉍毒事件と別子銅山事件、現在の公害問題」

講師〈菅井益郎 渡良瀬川研究会代表・国学院大学教授〉

会場？

### 第4回 3月 1日（水）「谷中廃村・強制破壊、正造死去、渡良瀬川改修問題」

講師〈赤上 剛 守る会・渡良瀬川研究会〉

会場？

### 第5回 3月 8日（水）「谷中村の遺跡を守る戦い。遊水地の魅力と未来」

講師〈高際澄雄 谷中村の遺跡を守る会会長・宇都宮大学名誉教授〉

〈猿山弘子 守る会・渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会事務局長〉

会場？

### 第6回 3月29日（水）「おさらい実習、旧谷中村周辺フィールドワーク」バス

講師〈坂原辰男+谷中村の遺跡を守る会役員〉

集合場所、時間は受講者へ別途通知

---

後援 栃木市 栃木市教育委員会

第 1 1 回渡良瀬遊水地保全・利活用協議会合同部会②資料  
渡良瀬遊水地ガイドクラブ

平成 3 0 年 5 月 2 3 日 (水)

## ○ガイドクラブの現状について

## ・団体の概要

1	設立年	平成 27 年 (2015 年) 3 月設立、同年 4 月活動開始
2	目的	渡良瀬遊水地へのおもてなし
3	ガイド在籍者数	49 名 (平成 30 年 4 月現在)
4	ガイド要件	栃木市主催のボランティアガイド養成講座(初級 1 年、中級 1 年) 合計 2 年間の受講修了者

## ・活動内容

1	活動日	年末年始、月曜等の閉園日を除いて毎日
2	活動場所	谷中湖周辺(史跡保全ゾーン、ウォッチングタワー)
3	説明内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊水地の治水機能、谷中湖のダムとしての利水機能</li> <li>ヨシ原浄化施設、史跡保全ゾーンの説明、レジャースポーツ、ヨシ焼きや植物・野鳥など自然環境に関する</li> <li>ことを案内</li> <li>・来訪者のニーズに合わせた案内を心掛けている</li> <li>・利用者の滞在時間は短く、20 分～1 時間程度</li> </ul>
4	料金	無料 (謝金は受領可)

## ・その他 (強み・弱み・悩み) ※課題及びその対応

1	外国語対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味や特技で英語、中国語、スペイン語、手話対応</li> <li>きるものもいるが、対応できる人員は少ないため、基本的</li> <li>に日本語で説明</li> <li>・JICA など来訪者側で通訳する方を手配する場合もある</li> </ul>
2	ガイド数の多さ	平成 29 年度 約 6,600 名 (団体案内 約 40 件) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ・ ・ 最大 350 名の 8 クラスを 8 名のガイドで対応</li> </ul>
3	知識の深さ	月 1 回の定例会で情報交換のほか、クラブで自主的に研修会、上級講座を開催しスキルアップを図っている
4	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動予定のローテーション及び当番表作成</li> <li>・ 基本マニュアルでの案内平準化</li> <li>・ 体調管理とクラブ運営の継続</li> <li>・ 県外の方の利用が多く、栃木市内の方の利用は約 20% で地元の方の関心が薄い</li> </ul>